

# 一般質問

## 市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<p>① 清野 和彦 (新政ちちぶ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 横瀬町と行う AI デマンド交通事業</li> <li>2 中期財政計画 (経常収支比率)</li> <li>3 子どもたちの健診・5歳児健診</li> <li>4 これからの図書館</li> </ol>	<p>⑥ 出浦 章恵</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域医療構想</li> <li>2 インボイス導入による市民への影響</li> <li>3 教育現場のデジタル (ICT) 化</li> </ol>	<p>⑪ 大久保 進 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2026 ねんりんピック</li> <li>2 高齢者施策</li> <li>3 子ども目の健康</li> </ol>
<p>② 小松 穂波 (新政ちちぶ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 パブリックスピーキングスキルの向上</li> <li>2 街中回遊の促進</li> <li>3 市職員の健康管理と職場環境の改善</li> </ol>	<p>⑦ 本橋 貢 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ヤングケアラーの実態調査と支援</li> <li>2 こども家庭庁創設にあたって市の取り組み</li> <li>3 市民課窓口にて非接触型レジスター導入</li> <li>4 副市長の職務</li> </ol>	<p>⑫ 坂本 勝幸 (まほろば)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市内の新型コロナウイルス感染者状況</li> <li>2 市内各所の災害発生時の避難場所</li> <li>3 恒持神社内諏訪神社の文化財化進捗状況</li> <li>4 地元職人、大工の後継者育成の支援体制</li> </ol>
<p>③ 宮前 昌美 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活困窮世帯等の児童生徒への学習支援</li> <li>2 進学就労に向けた若手市職員の出前授業</li> <li>3 「いきがいセンター」の活用促進</li> <li>4 デジタル教科書への対応と支援員の確保</li> </ol>	<p>⑧ 金崎 昌之</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 秩父に救命救急センターを</li> <li>2 市道の安全管理と監視強化</li> <li>3 県立林業高等学校の誘致を</li> </ol>	<p>⑬ 赤岩 秀文 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育環境</li> <li>2 トイレへの大型サンタリーボックスの設置</li> <li>3 避難所、防災拠点の充実</li> <li>4 旧秩父東高活用検討市民会議の概要</li> </ol>
<p>④ 宮川 浩司 (まほろば)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 企業支援の現状</li> <li>2 成年後見制度の運用</li> </ol>	<p>⑨ 木村 隆彦 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 キッズパークの利用状況</li> <li>2 市民サービスのキャッシュレス化</li> <li>3 小中学生の通学状況</li> <li>4 公園橋通りの渋滞</li> </ol>	<p>⑭ 高野 佳男 (まほろば)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 公共施設の維持管理</li> <li>2 市民の市政への参画</li> <li>3 ひとり親世帯への支援</li> <li>4 電気自動車の充電スタンドの設置</li> </ol>
<p>⑤ 浅海 忠 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高校魅力化の取り組みと4高校のあり方</li> <li>2 古池・大指地区の水道整備</li> <li>3 荒川地域の国道県道の安全対策</li> </ol>	<p>⑩ 内田 均 (まほろば)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 旧秩父東高の再利用</li> <li>2 秩父ペタンクジュニア育成</li> <li>3 ミューズパーク観光スポット計画</li> </ol>	<p>⑮ 黒澤 秀之</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域の進行がん撲滅への取り組み</li> <li>2 胃がんのリスク検診導入</li> <li>3 健康寿命延伸への取り組み</li> <li>4 市道尾田蔭161号線に対する要望</li> </ol>

※市議会ホームページのインターネット録画中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

## 横瀬町と共同で行う AI デマンド交通事業



新政ちちぶ 清野 和彦

**問** デジタル田園都市国家構想に基づく横瀬町と共同で行うAIデマンド交通事業はどのように実施するのか。また中長期的な事業の発展についての考えは。

**答** 運行地域は、市では既に運行している吉田・大田地区の乗合タクシーにAIによる予約・配車システムを導入する。吉田・大田地区内では自由に乗り降りでき、地域外乗降場所は、現在は小鹿野町に3か所（小鹿野中央病院、小鹿野中央病院バイパス入口、泉田バス停）、皆野町に1か所（皆野駅）があるが、小鹿野町に2か所（小鹿野町役場、埼玉りそな銀行小鹿野支店）、皆野町に1か所（皆野病院）の追加を検討している。横瀬町で運行されている乗合タクシー「のりあいブコさん号」には、既にAIによる予約・配車システムは導入されているが、秩父市内にある地域外乗降場所3か所（ウニクス秩父・秩父駅・市立病院）から、複数か所（場所未定）の追加を検討している。

日の利用30分前まで乗車予約ができるようになる。運行は市内のタクシー会社が行い、利用料金は1回につき500円、65歳以上の方は1年度2千円（500円×4回分）の助成。70歳以上の方、障害手帳所有者などは300円となる。中長期的な発展については、地域公共交通全体で、交通事業者を交えて総合的に検討する必要がある。



現在運行している吉田・大田地区乗合タクシー

早くても12月中の運用開始見込みで、4年度内には確実に運用を開始する。電話予約も継続し、当

- ◎ 中期財政計画 (経常収支比率)
- ◎ 子どもたちの健診・5歳児健診
- ◎ これからの図書館

# 一般質問

## パブリックスピーキング スキル向上の取り組み



新政ちちぶ  
小松 穂波

**問** コミュニケーションやプレゼンテーションスキル向上を目指した教育についての考えは。

**答** これからの国際社会で活躍するであろう秩父の子どもたちにとって必要なスキルだと考えている。現在テーマを決めて調べ学習を進め、その結果を発表するという授業を各教科で行っている。今後も「伝える力」、「聞く力」を養うコミュニケーション能力の向上に向けた授業実践に努めていく。

### ●街中回遊の促進

**問** 街路灯や開運案内板「どこいくべえ」を活用し、観光案内サイトとの連携など、観光資源などへ誘導してはどうか。

**答** 情報取得の資源として「街路灯」や「どこいくべえ案内板」の使用は、関係各所との調整が前提となるが、費用面から効果があると思われる。一方で、スマートフォンの位置情報を活用した観光情報取得サービスについては、開発費用等の費用面での課題があるため、現在構築中の観光Maasの仕組みの中で可能性を研究したい。

### ●市職員の健康管理と

#### 職場環境の改善

**問** 職務中のトイレの利用、昼休み時における自席での昼食、食後の歯磨きなど、市民に理解を促す周知が必要ではないか。

**答** 来庁された市民にご理解いただけるよう、窓口等への掲示を検討する。

**問** エアロゾル感染対策のための効果的な換気の見直しは。

**答** 今一度、空気の流れを見直したうえで、飛沫感染対策に取り組みたい。



開運案内板どこいくべえ

## 生活困窮世帯等の児童・生徒に向けた学習支援



市民クラブ  
宮前 昌美

**問** 貧困は連鎖する傾向が強く、生活困窮者自立支援法に基づき国と自治体半分ずつの助成金で、困窮世帯等への学習支援が行われているが、支援の内容や利用者の状況は。また、県福祉事務所管轄の秩父地域4町では、小学生に向けた週3回の学習サポートを行っているが、市でも同様にできないか。

**答** 小学3年生から高校生までの学習支援を「(一社)彩の国子ども・若者支援ネットワーク」に委託しており、週1回土曜日に2時間の学習教室のほか、定期的に家庭訪問を実施している。参加者は小学生6人、中学生は各8人でそれぞれ47回開催されており、家庭訪問も小中高生合わせて延べ442回実施された。今後も保護者へのアプローチを積極的に行い、学習支援教室への参加を促していく。

向上が求められる中、使い勝手が悪く、市民主体ではない。今後の活用促進に向けた取り組みは。

**答** 保健センターでは「健康増進法」に基づく健康教室を実施し、40歳以上の方にご利用いただいている。いきがいセンターを会場とした教室は、コロナ禍で規模を縮小したため、3年度は年6回37人だった。今後、いきがいセンターを活用した教室については、関係部局と協議・検討していきたい。

### ●いきがいセンターの

#### 利用促進

**問** トレーニングルームは無料で利用できるが、初めに保健センター主催の運動教室に参加し、「利用者証」を得てからでないと、自由に利用できない。体力の維持・

学習教室では

- ★ 定期試験、提出課題に向けた勉強を行います
- ★ 学校の授業についていけない成績が悪くて進級や卒業できるかが心配
- ★ 一人だと勉強がわからない
- ★ 経済的な理由で塾に行けない

悩むことはお問い合わせを

- ★ 学校の授業についていけない成績が悪くて進級や卒業できるかが心配
- ★ 一人だと勉強がわからない
- ★ 経済的な理由で塾に行けない

学習教室

地区	敷谷町(新名)
運営者	秩父市、秩父市立、私立、専修学校
対象	小学生、中学生、高校生、社会人
定員	10名程度
費用	無料
問い合わせ先	秩父市福祉課

お問い合わせ・申し込み先

一般社団法人 彩の国子ども・若者支援ネットワーク  
 アスポート学習支援センター 埼玉秩父事務所  
 0494-20-5612  
 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00  
 祝日及び12月29日～1月1日はお休みです  
 ※お子様の学習状況を確認するために面接を行います

困窮世帯等の学習支援事業を積極的にご利用ください

◎進学・就労に向けた若手市職員の出前授業  
◎デジタル教科書への対応と情報担当職員の人員配置・人材育成

# 一般質問

## 市民後見人への期待と支援



まほろば 宮川 浩司  
みやがわ ひろし

**問** 地域の成年後見制度を統括する中核機関の設置後の進捗状況は。

**答** 4年度は、民間の一般社団法人に委託し、運営については、市と連携して進めている。包括支援センターをはじめとして、高齢者介護課などを二次相談窓口とし、中核機関は二次相談窓口として、関係各所への橋渡しを行っていている。

**問** 市民後見人養成講座の修了者の現状と今後の支援は。

**答** 養成講座の修了者には、フォローアップ講座を行い、市の市民後見人名簿に登録している。また、日常生活自立支援事業の生活支援員などの活動の場所を案内しているが、現状では活躍する場が少なく、専門知識を習得した人材が埋もれてしまっている。今後、認知症高齢者の増加により、成年後見制度の担い手として期待されるため、具体的な支援の方法や活躍の受け入れ先などの拡大について検討していきたい。

創業に向けた経営計画などのノウハウを習得していただき、新たな創業者を増やしている。リノベーション創業支援事業補助金を4年度より創設し、創業者への支援を強化する。3年度は、受講者の中から5人が市内で創業した。創業支援対象者はコロナ禍により減少したが、1市4町で連携して創業の機運を作り出していきたい。

## 起業支援策

**問** 創業支援事業計画の取り組み内容、その実績は。

**答** 毎年、ちちぶ創業塾を開講し、



市民後見人養成講座テキスト

## 古池・大指地区の水道整備



市民クラブ 浅海 忠  
あさうみ ただし

**問** 合併時に、水道施設の整備は、県道皆野両神線の改良に併せて行うとなっていた。4年7月に開催された県道皆野両神線改良促進期成同盟会総会において、秩父県土整備事務所長から「8年度の完成を目指す。」との説明があった。市として秩父広域市町村圏組合水道局（以下、水道局）に対して、どの様に要請していくのか。

**答** 水道局に確認したところ、秩父地域水道事業広域化基本計画において、広域化施設整備計画13項目の一つに「大指地区・古池地区への供給計画」が示されており、道路改良工事の進捗に合わせ、配水管等の整備を進める計画。3年7月に改定した基本計画では、8年度以降に着手し、工事完了後の給水を開始することと、市としても早期の給水開始ができるよう働きかけを行っていききたい。

久那地内常盤橋前後の区間で山梨方面に向かって左側の工事を進めている。②荒川日野地内、荒川中学校から武州日野駅周辺の区間で、測量業務が終了し、設計業務を行っている。設計業務が終了した段階で、用地・補償等の調査および地権者との交渉を進めていく。③荒川白久地内、荒川郵便局付近の整備は道路の詳細設計を行っており、今後橋梁の予備設計等を行う。設計業務が終了した段階で、用地・補償等の調査および地権者との交渉を進めていく。

## 国道県道の安全対策

**問** 荒川地域の国道の安全対策の状況は。

**答** 国道140号の歩道整備について、荒川総合支所管内で3か所の整備計画を進めている。①荒川



荒川久那地内の歩道整備工事

# 一般質問

## 教育現場のデジタル化の問題点と課題は



出浦 章恵

**問** 教育現場でも、コロナ禍でデジタル（ICT）化が急速に進み、子どもの人権や権利の侵害が懸念される。子ども家庭庁はデジタル庁と連携し、「子どもデータベース」作り、分析していく事を検討している。データの内容は、学力テストなどの履歴、健康や体力、奨学金、生活保護、就学援助などをデータ化するというが、データの集積・利活用について非常に危険を感じる。さらに、デジタル教科書が導入されるが、保護者の財政負担、教育効果と問題点や課題も多いのではないか。

**答** 教師が利用する校務支援システムには、児童生徒の出席状況や成長の記録、成績等が保存されており、これらの情報は暗号化されて市のサーバーに保管されている。4年度、全ての学校へ英語のデジタル教科書を導入し試行中だが、大きな問題はない。今後、保護者負担が生じる場合は、負担軽減のための支援を県教育委員会へ要望したり、経済的負担に配慮していく。

**問** 数が削減できるという動きがあるが、果たして子どものためになっているのか疑問がある。デジタル化が進められる方向にあることは否定できないが、子どもたちや現場の教職員の声を聞き、それを生かす必要がある。考えはどうか。

**答** 各学校のICT活用の実践や課題を集約して市内学校で共有している。また、今後は、ICT支援員による学校の巡回支援も充実させ、現場の声を活かしていく。



市内小中学校で使用されている学習用端末

## ヤングケアラーの実態調査と支援

### 実態調査と支援



公明党 本橋 貢

**問** 令和2年、3年とヤングケアラーの実態調査と支援について訴えた。今回で3回目となる。「家族のために献身的にさまざまな世話をするヤングケアラーの子ども」の行動は尊く、それ自体は否定すべきものではない。「ケアの程度によっては学校生活に影響を及ぼす。今、困っている生活保護世帯や生活困窮世帯のヤングケアラーへ早急に支援が必要である。国も県も動き始めた。実態調査と支援の取り組みは。

**答** 4年2月から3月に、小学校5・6年生、中学校全学年を対象にヤングケアラーのアンケート調査を無記名で実施した。2234人の内12・2%の269人が、家族の世話をしていると答えた。早期発見、早期対応を引き続き行う支援については、本人だけでなく家庭への支援も必要。現在、市と社会福祉協議会が連携して、ヤングケアラー等世帯訪問支援事業を4年9月から実施する準備を進めている。ヤングケアラーとその世帯の負担軽減が目的。家庭にホームヘルパーを派遣し、家事援助や身体介護等を行う事業。

**● ことども家庭庁**  
**問** ことども家庭庁創設にあたり市の取り組みは。  
**答** ことども家庭庁創設に先駆けて4年度から子育て支援課を設置した。0歳から18歳までの全ての子どもと、その家庭および妊産婦の方々が抱えるさまざまな悩みに対し、関係機関と連携を図りながら、実情に応じた適切なサポート支援を行っている。



4年度から設置された子育て支援課

◎市民課窓口にて非接触型レジスタ導入  
 ◎副市長の職務

# 一般質問

## 秩父に救命救急センターを



かなさき まさゆき  
金崎 昌之

**問** 救命救急に対応できる「地域完結型医療」という理想を降ろしてはならないと考えている。人口1万4千人ほどの山形県川西町にある「置賜総合病院」は自治体病院の広域再編モデルと言われている。県の協力の下に広域組合で高度・救急医療を提供している。「秩父に救命救急センターを」との声を上げる時だと考えるが。

**答** 地域内で安心して医療が受けられるよう、関係機関との連携を図るとともに、圏域外の高次医療機関への搬送体制の維持・強化に取り組む。

### ●市道の安全管理と監視強化

監視強化

**問** 大宮地内のソーラーパネルの間を通る市道上で、7月の激しい雷雨があった夜半、落石が原因と思われる車両事故が発生。市民から関係機関に宛てて、原因究明と安全対策を求める要望書が署名簿とともに出されているが、対応は。

**答** 秩父警察署によると事故原因の究明には至らなかったとのことである。通学路でもあることから、近隣地権者の協力を得て柵の設置

等の落石防止対策を引き続き実施し、安全管理を図っていく。また、地権者にも周辺の安全確認を再度お願いした。

### ●県立林業大学の誘致を

**問** 林業の担い手不足を背景に、都道府県が設立する林業大学校が全国で次々と開校している。「植樹祭」の開催は、国や県に林業大学校の誘致を働きかける一大チャンスだと考えるが。

**答** 市としても設立を望んでいる。県が設立を検討する際は積極的な誘致活動を行う。



長野県林業大学校のパンフレット(表紙)

## 公園橋通りの渋滞



きむら たかひこ  
市民クラブ 木村 隆彦

**問** 県道秩父停車場秩父公園線(以下公園橋通り)の将来に向けての市の考えは。

**答** 4月に西関東連絡道路の国道140号長尾根バイパスが新規事業化された。長尾根バイパスの整備によって、県北部地域や小鹿野地域と秩父市街地とのアクセスが向上する。長尾根バイパスは現在の国道299号と接続している上蔭田交差点を起点とし、長尾根丘陵の下をトンネルで潜り、寺尾地内の秩父ミュージックパーク北口交差点付近へ至る延長約4kmの路線で、県では13年度末の完成を目指し、現在予備設計に着手している。バイパス開通に伴い、公園橋通りを経由し、中心市街地へ流入する交通量の増加が今後予想されるため、将来を見据えた交通渋滞の観点から、公園橋通りの交差点改良や中心市街地における主要幹線道路整備の計画検討についても早期に取り組んでいくことが重要と認識している。中心市街地では現在、本町・中町において都市計画道路「中央通線」「お花畑通線」の電柱地中化による街路整備工事が進められていて、中央通線の上町区間

の整備に向けた調整にも着手している。また、国道140号秩父陸橋平面化に伴う国道140号と市道(中央)642号線の新交差点の整備において県と市が一体となって、円滑な交通の確保に向けた設計を進めている。さらに中心市街地の交通渋滞対策と合わせ、今後の更なる地域の活性化、利便性の向上を目指すため、秩父駅東側の活用を踏まえた新たな道路整備計画についても検討が必要なものと考えている。



渋滞解消が望まれる公園橋通り

一般質問

旧秩父東高の再利用



まほろば 内田 均

問 旧秩父東高の検討市民会議の現状と今後は。

答 「旧秩父東高活用検討市民会議」は、4年7月公募の市民や地元町会長、地域の活動団体の代表者、市議会議員の12人で構成し、計7回の会議を経て、12月に市長へ答申予定。

問 耐震調査の状況は。

答 構造耐震指標(Is値)は、県より提供を受けているが、市において耐震診断は行っていない。

問 再利用するとしたらどのような施設を考えているか。

答 市内にある老朽化した公共施設の機能などを集約、複合化の拠点として利活用し、他施設の維持管理の低減を図り、財政の健全化を進めたい。

ペタンクジュニア育成

問 小中学校に、ペタンクをクラブ活動、部活動に取り入れる施策はできないか。

答 学校長の判断で部活動の新設が行われる。しかし、部活動の環境は厳しく、運営は学校から地域へ移行していく環境にある。ペタンクが健康増進、青少年の育成に



現在の旧秩父東高

大きく寄与しているのは十分認識している。普及・推進に向け支援していきたいと考えている。

ミュージックパークのウォーキングコースの延伸

問 ミュージックパークのスカイロードのウォーキングコースを延長し、目標を持った健康寿命を延ばす取り組みは。

答 県の施設であるが、ミュージックパーク内にある既存施設を有効に利活用し、ウォーキングコースの延長が可能か検討をお願いしたい。

2026ねりんピック



公明党 大久保 進

問 2026年ねりんピック埼玉大会に、ペタンク日本一の市としてペタンク競技の誘致を積極的に行うことはどうか。

答 5年度に説明会が実施され、競技種目の開催地が決定される予定。「ペタンク日本一のまち」を掲げる市として、開催誘致の条件等を確認し、関係部局と積極的誘致に向けて、協議・検討していく。

肺炎球菌ワクチンの補助

問 高齢者肺炎球菌予防接種の補助は1回のみだが、希望者に2回目以降の接種補助ができないか。

答 財政面および再接種による臨床的な有効性の根拠が明確に示されていないことから、2回目以降の補助については実施が難しい状況。対象者への高齢者肺炎球菌予防接種の実施とともに、今後も身体機能の維持と免疫機能の向上に向けた健康増進および介護予防の取り組みを継続していく。

救急搬送

問 救急搬送された遠方の病院からの帰りの補助ができないか。

答 秩父圏域では、高齢者の交通

問題を圏域共通の課題として検討している。遠方の病院に救急搬送された帰り道の補助は、今後の検討事項として調査・研究していく。

ICT化による

子どもの健康

問 ICT化における児童・生徒の目の健康予防の現状と対策は。

答 授業での学習用端末使用の際は、30分に一度は目を休める等の活用ルールを設定している。家庭と連携を図りながら子どもたちの健康を守っていきけるよう、指導、支援をしていく。

高齢者肺炎球菌(23価)予防接種	過去に接種(一部助成または自費)したことがない以下の生年月日に該当する方 65歳：昭和32年4月2日～昭和33年4月1日生まれ 70歳：昭和27年4月2日～昭和28年4月1日生まれ 75歳：昭和22年4月2日～昭和23年4月1日生まれ 80歳：昭和17年4月2日～昭和18年4月1日生まれ 85歳：昭和12年4月2日～昭和13年4月1日生まれ 90歳：昭和7年4月2日～昭和8年4月1日生まれ 95歳：昭和2年4月2日～昭和3年4月1日生まれ 100歳：大正11年4月2日～大正12年4月1日生まれ 60歳以上の65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器または免疫機能に障がいがあり、身体障害者手帳1級をお持ちの方	令和4年4月1日～令和5年3月31日～まで
	1回(一部助成を受けられるのは生年1回のみです) ※過去に自費等で23価肺炎球菌ワクチンを受けたことがある方は対象になりません。	料金がかります！ 料金は2,500円(医療機関窓口で支払い) 生活保護の方、障害者等受給者の方は無料(受給者証または本人確認が必要) 65歳の方(昭和32年4月2日～昭和33年4月1日生まれ)には、4月に書類をお送りしますので、前々までお待ちください。 70歳以上で過去に接種したことがない方は、各保健センター窓口で4月1日～から接種に必要な書類を配布します。

秩父市の肺炎球菌ワクチンの概要

# 一般質問

## 市内の新型コロナウイルス感染症状況



まほろば さかもと 坂本 かつゆき 勝幸

**問** 8月度の新型コロナウイルス感染症状況は。

**答** 7月中旬から急激に感染が拡大した第7波の影響により、市でも今まで以上に感染者が急増し、8月の感染者数は2365人、累計6699人となった。現在は徐々に感染者数は減少してきている。9月13日現在で、累計7138人となっている。

**問** 医療機関のベッドの使用率はどのようになっているのか。

**答** 秩父圏域内の医療機関における新型コロナウイルス感染症の病床使用率は9月13日現在で、全26床のうち7床が使用され、使用率26・9%、重症病床は2床あるが0%となっている。

**問** 市立病院における入院患者、緊急患者への影響は。

**答** 内科系初診患者には待たせていただくことがある。緊急の手術の場合は他院を紹介している。

### 市内各所の災害時の避難場所

**問** 災害時の一時集合場所が土砂災害警戒区域内に該当する所の今後の対応は。

**答** 各町会でハザードマップ等により確認していただき、市に相談していただければと思っている。今後も維持管理について各町会を支援して行く。

### 恒持神社内、諏訪神社の(秩父市)文化財化

**問** 恒持神社内の諏訪神社の文化財化への進捗状況は。

**答** 4年6月の秩父市文化財保護審議委員会にて、継続調査をするべき物件であるとの判断となった。



山田地区、恒持神社内の諏訪神社

◎市内職人さんへの後継者育成の支援体制

## 教育環境



市民クラブ あかいわ ひでふみ 赤岩 秀文

**問** 急な発熱等により学校を休む時、これまでは電話連絡や欠席届の提出が一般的だが、文部科学省ではデジタルを活用した保護者との連絡システムの導入を強力に推進している。3年12月に同省が公表した調査によると政令指定都市の8割が導入し、政令指定都市外の市町村での導入も56%となっている。連絡システムの導入は各市町村の教育委員会の判断となっているが、状況はどうか。

**答** 一部の学校で、独自にグループフォームを活用して欠席の確認をしている。感染症での欠席の場合には詳細を確認する必要があるため、電話で連絡を取り合っている。

**問** 学校へ欠席の連絡をする時間帯は保護者は多忙である。また学校職員の多忙化解消を考へても早期に導入を検討して欲しい。

**答** 独自に取り組んでいる学校のノウハウを情報共有して、他の学校でもグループフォームを活用できるように広報していく。

### 体育座りによる身体への影響

**問** 体育座りは、義務教育の体育

の授業等で実施されている坐法で、文部科学省による体育の手引きにも紹介されている。この体育座りが、内臓を圧迫し座骨の痛みや、腰痛を引き起こす原因の一つであることが心配されるが見解は。

**答** 腰を下ろして長時間同じ姿勢を維持することは内臓を圧迫するなどの影響があると考えられる。必ず同じ姿勢でいなければならぬ理由はないため、あぐらや正座など他の坐法も用いて状況に応じた座り方を指示していく。



集団で行う体育座り

一般質問

男女共同参画社会の推進から  
住民主体の自治の実現へ



まほろば 高野 佳男  
たかの よしお

**問** 2000年代以降、分権化への大きな流れが生じ住民主体の自治が志向される中、特に女性と青少年に市政への関心を喚起するのが重要と考えるが、関連の施策は、

**答** 市では「デュエットプランちちぶ」を策定し、男女共同参画社会を実現するための4つの重点目標を掲げ、講演会や研修会の実施を通して意識の醸成や環境の整備に努めている。目下は8年度までの10年計画の前半を終了し、後半の5年間に向け計画の見直しと改訂を検討したい。また、小中学校では社会科や総合学習の時間等で主権者教育を実施している。

●地場産センター建物の  
維持管理

**問** 市は財団法人秩父地域地場産業センターが所有する建物の寄附を受けることになったが、建物の現状と今後の維持管理計画は。

**答** 当該建設物は1985年竣工で、秩父鉄道と秩父商工会議所との共同所有である。過去に大規模改修は未実施で、今後は築45年を目的に大規模改修を実施し、最終的には70年の耐用年数を目指した



市への一部寄附が決まった地場産センター

い。改修や維持管理に関する計画策定や経費負担等については、今後他の所有者と協議し調整する予定である。なお、市が所有する公施設全体の維持管理については、財源に上限枠を設けることで平準化に努めて行きたい。

●ひとり親世帯への支援

**問** 長引くコロナ禍で特にひとり親世帯の困窮が著しいが。

**答** 就職や就業訓練のための給付金で自立に向けての支援を行っている。

地域の進行がん撲滅



くろさわ ひでゆき 黒澤 秀之

**問** 厚生労働省が定める健康増進法に基づく市町村事業としてのがん検診は、胃がん、子宮がん、肺がん、乳がん、大腸がんの5種類である。がんによる死亡率の減少には、早期に発見し治療することが不可欠であり、がん検診が大変に重要である。埼玉県発表の市町村別がん検診の受診率順位を踏まえ、市におけるがん検診の現状は、

**答** コロナ禍により、ここ数年の受診率は低くなっている。個別通知に加え、特定検診会場や各種事業の実施時等さまざまな機会を捉え受診勧奨を行うことで、がん予防についての普及啓発に努めている。

**問** 県下63市町村において、胃がんのリスク検診としてペプシノゲン検査やABC検診を実施している自治体は、17市町村にのぼる。先進自治体におけるがんのリスク検診実施について市の考えは。

**答** 平成29年から30年にかけて、秩父郡市医師会や4町と導入について検討したが、当時は検診の有効性がはっきりしていないために導入を見送ったが、現在の医学的な知見と検査方法の有効性について、

再度確認し、リスク検診の導入について改めて協議を進めていく。

●健康寿命延伸への  
取り組み

**問** 市民の健康意識醸成にむけ、平成30年4月より開始した秩父市版健康マイレージ事業の現状と参加者の増加策は。

**答** 3年度は、3728人が参加している。厚生労働省におけるガイドライン等も踏まえ、報奨を得ることのみが目的化しないようポイントが集まった際の参加賞に加え、賞品等の検討も重ねていく。

順位 (63市町村中)	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
秩父市	59位 (→)	35位 (↑)	60位 (↓)	42位 (→)	53位 (↑)
小鹿野町	6位	11位	4位	19位	27位
皆野町	1位	6位	8位	52位	14位
横瀬町	13位	8位	7位	26位	11位
長瀬町	...	32位	44位	49位	30位

※( )内は、前年度からのがん検診受診率順位の変動

埼玉県公表 市町村別がん検診受診率順位  
(令和2年度地域保健・健康増進事業報告より)



# 秩父市議会を傍聴してみませんか？

市議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）に定例会を開催しています。  
 （特に必要がある場合は、臨時会が開催されます。）  
 市政を知る機会として、足を運んでみませんか？ お待ちしています。

## 》 傍聴者席のご案内



- 議会は市役所本庁舎4階の議場で開催されます。
- 傍聴は無料です。予約は必要ありません。
- 「傍聴受付」にて、住所、氏名を記入いただき、検温後、傍聴席にお入りください。（傍聴席は議場後方になります。定員を超えた場合は、別室でモニターでの傍聴となります。）

## 》 傍聴の際の注意事項

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手指消毒、マスク着用をお願いします。
- ・発熱などの風邪症状がある方や体調が優れない方は、傍聴をご遠慮ください。
- ・傍聴席では静粛をお願いします。
- ・飲食、喫煙はできません。
- ・携帯電話、スマートフォンの電源はお切りください。
- ・原則として、写真・ビデオ撮影や録音はできません。
- ・傍聴席の出入りは自由です。



※各日、午前10時開会予定です。  
 ※議場は、本庁舎の4階です。  
 ※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。

日程	議 事
11月22日(火)	開会、議案説明
28日(月)	議案に対する質疑
12月5日(月)	文教福祉委員会
6日(火)	総務委員会
7日(水)	まちづくり委員会
9日(金)	一般質問
12日(月)	
13日(火)	
19日(月)	委員長報告、採決、閉会

## 12月定例会の予定

議会報告会を、公民館等で開催できるよう準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場での開催を取りやめ、ホームページにて資料を公開することにしました。



## 議会報告会

資料をホームページで  
公開します

## 編集後記

社会のさまざまな局面で混迷が深まり、将来に向けての展望を描くのが困難な昨今、自らのまなざしに「定評」を据えたいと願うのは自然な欲求ではないでしょうか。石橋湛山は、大正期から昭和前半にかけて経済ジャーナリストおよび政治家として偉大な足跡を残した人物です。湛山翁は戦前から戦中そして敗戦後の激動の時代にあって、常に冷徹なまでの現実認識に抛りつつも決して打算には陥らず、高い道義を掲げ、「人」中心の生産活動とそれに基づく平和で繁栄した社会の建設に挺身しました。

円安、不況、物価高騰、生活苦等々は湛山翁が生きた時代の現実でもありました。翁の事績を辿ることで「定評」を見出すためのヒントを得られるかもしれません。

令和4年9月 高野 佳男 記

## 編集委員

委員長  
副委員長  
委員

本橋 高野 佳章  
 出野 幸之恵  
 黒澤 秀章  
 坂本 昌和  
 清野 勝彦  
 宮前 美彦  
 高野 忠宏